【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公開番号】特開2020-67961(P2020-67961A)
【公開日】令和2年4月30日(2020.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2020-017
【出願番号】特願2018-202035(P2018-202035)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　1/32　(2019.01)
Ｂ４１Ｊ　29/38　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　1/32　Ｚ
Ｂ４１Ｊ　29/38　Ｚ
Ｂ４１Ｊ　29/38　Ｄ
Ｈ０４Ｎ　1/00　８８５

【手続補正書】
【提出日】令和3年9月6日(2021.9.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも第１電力状態、及び、前記第１電力状態より省電力の第２電力状態、になる情報処理装置であって、
リセット信号を、リセット信号を受け取ると通常状態からリセット状態へと移行し、かつ、一切の信号を所定時間受け取らないと通常状態から省電力状態へ移行する保存デバイスに送信する送信手段と、
前記リセット信号を受け取って前記リセット状態へと移行した前記保存デバイスの電源を切る手段とを有し、
前記第１電力状態から前記第２電力状態へと前記情報処理装置が移行する際に、前記保存デバイスに前記リセット信号を送信しないことによって、前記保存デバイスを前記所定時間の経過後に前記通常状態から前記省電力状態へと移行させることを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
少なくとも第１電力状態、及び、前記第１電力状態より省電力の第２電力状態、になる情報処理装置であって、
動作停止信号を出力する出力手段と、
前記出力手段から出力された動作停止信号を受信可能であり、前記動作停止信号に従って動作停止状態となり、且つ、少なくとも前記動作停止信号が入力されていないことを条件に前記動作停止状態より省電力の省電力モードに移行するデバイスと、
前記情報処理装置が前記第２電力状態に移行するときに、前記デバイスに動作停止信号が入力されないようにする信号制御手段と、
所定の条件に従って前記情報処理装置を再起動する再起動手段と、を備え、
前記再起動手段が前記情報処理装置を再起動するときに、前記信号制御手段は、前記デバイスに動作停止信号が入力されるようにする、ことを特徴とする情報処理装置。

【請求項３】
前記情報処理装置の電力状態を示す情報を記憶する記憶手段をさらに備え、
前記信号制御手段は、前記情報が前記第２電力状態を示すときに、前記デバイスに動作停止信号が入力されないようにする、ことを特徴とする請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記情報処理装置の電力状態を示す情報を記憶する記憶手段と、
前記記憶手段に記憶された前記情報に基づいて、前記情報処理装置の電力状態を変更する電力制御手段と、をさらに備えることを特徴とする請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記デバイスにアクセス可能な演算手段をさらに備え、
前記デバイスは、少なくとも前記動作停止信号が入力されていないこと及び前記演算手段からのアクセスが無く所定時間が経過したことを条件に前記省電力モードに移行する、ことを特徴とする請求項２乃至４の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記演算手段が、前記情報処理装置の電力状態を示す情報を出力し、
前記信号制御手段は、前記演算手段から出力された前記情報処理装置の電力状態を示す情報に基づいて、前記デバイスに動作停止信号が入力されないようにする、ことを特徴とする請求項５に記載の情報処理装置。
【請求項７】
前記情報処理装置は、さらに、前記第２電力状態より省電力の第３電力状態になり、
前記信号制御手段は、前記情報が前記第３電力状態を示す場合に、前記デバイスに動作停止信号が入力されるようにする、ことを特徴とする請求項２乃至６の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項８】
前記第３電力状態では、前記デバイスへの電力供給が停止される、ことを特徴とする請求項７に記載の情報処理装置。
【請求項９】
前記デバイスは、ｅＭＭＣである、ことを特徴とする請求項２乃至８の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１０】
前記動作停止信号は、リセット信号である、ことを特徴とする請求項２乃至９の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１１】
記録媒体に画像を印刷する印刷手段をさらに備える、ことを特徴とする請求項１乃至１０の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１２】
原稿の画像を読み取り、画像データを出力する読取手段をさらに備える、ことを特徴とする請求項１乃至１１の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１３】
少なくとも第１電力状態及び前記第１電力状態より省電力の第２電力状態になり、動作停止信号を受信可能であり、前記動作停止信号に従って動作停止状態となり且つ少なくとも前記動作停止信号が入力されていないことを条件に前記動作停止状態より省電力の省電力モードに移行するデバイスを有する情報処理装置の制御方法であって、
動作停止信号を出力するステップと、
前記情報処理装置の電力状態を示す情報に基づいて、前記デバイスに動作停止信号が入力されないようにするステップと、
所定の条件に従って前記情報処理装置を再起動するステップと、
前記情報処理装置を再起動するときに、前記デバイスに動作停止信号が入力されるようにするステップと、を有すること特徴とする情報処理装置の制御方法。